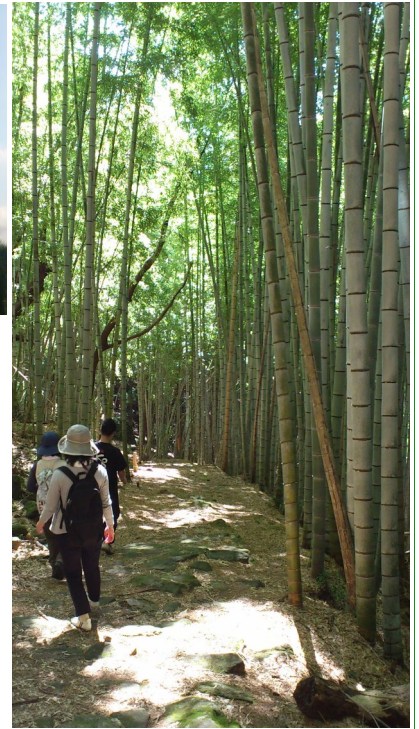




台風時の阿田和のハワイ



普段の阿田和のハワイ



熊野古道を歩く小森梓(最後尾)

9月7日から30日まで内科で研修させて頂きました。本当は9月4日に行く予定でしたが、大雨のため電車が止まり、国道も通行止めとなり…まさに陸の孤島。こんなところで1ヶ月研修なんて！！と行きのバスの中では不安でいっぱいでした。が、ようやくたどり着いた紀南病院では、私の馬鹿さ加減に呆れつつも丁寧に教えてくださった懐が深い指導医や、何でも知っていて頼もしい研修医達、ととても親切な事務の方々、温かくて優しい看護師さんに囲まれて無事研修を終えることが出来ました。

四日市に戻ってみると、街の雰囲気はがらりと違い、そしてすっかり秋になっていて、少し浦島太郎になった気分です。

あつという間に過ぎてしまった4週間でしたが、これまでのどの研修とも比較は出来ないほど貴重でぎゅっと詰まった4週間でした。紀南で研修できてよかったな。ありがとうございました。

(市立四日市病院 小森梓)

研修医通信 Vol.16

僕にとっての紀南病院…それは磯〇先生(師匠)との出会いから始まりました。最初はすらっとした印象だったのですが、後々マッチョなラガーマンであることがわかりました。よく見ると首も太く当時の面影を垣間見ることができました。師匠の背中は大きく温かかったです。

生活はというと、最初は、夜遅くまで開いている店が少なく途方にくれていました。ピネで弁当を買って家で食べることもありましたが、「せっかくだ紀南に来たしどっか食べに行こう」と一念発起し周囲を散策したところ、42号線沿いに夜2時頃まで開いている中華料理屋を見つけました。なかなか美味しく、一時期頻繁に通ったんですが、途中で僕の胃の方がギブアップしてしまい、結局最後は病院の食堂に落ち着きました。やっぱり和食が一番です。めちゃくちゃ美味しかったです。ちなみに僕の一番好きなメニューはおでん(特に大根)でした。

そんなこんなで紀南での研修も終わってしまい、今はもといた鈴鹿の病院に戻り、こども達と戯れています(小児科研修)。プリキユアもちよっと詳しくなりました。むちむちした赤ちゃんのルートがなかなか取れず日々奮闘中です。

こんな僕ですが、またどこかで会った際は声かけて頂けると嬉しいです。1か月間大変お世話になりました。ありがとうございました。

(鈴鹿中央総合病院 津田真希)



被災現場を訪ねる津田真希(写真右下の頭) 中央は奥野先生

8月から12月まで5ヶ月間お世話になります。どうして5ヶ月間も選択したのかというと、病院システムや紀南の暮らしに「慣れる」だけで終わってしまうのは勿体ないと考えたからというのが大きいです。この思いきった5ヶ月という選択に、ボスの先生は「まるで初めて入るラーメン屋で特盛りを注文するようだ」と絶妙な表現を与えてくださいました。

研修内容の実際は、想像をはるかに上回る充実ぶりです、ここまでのたった2か月間の経験だけでも、早くも腹がふくれあがっております。優秀で熱意あふれる先生方、そして地域を担う医療という環境のなかで、意欲次第で際限なく学ぶことができそうです。特盛りラーメンに、わんこそばシステムがついていたみたいな感じです。地域医療をする上での精神論も数多く教わり、それらが心にしみいるのを感じる毎日です。

温かい病院スタッフそして地域の皆さまのおかげで、研修を進められております。心から感謝しております。一つ一つの経験が消化不良で通り過ぎていくことがないよう努力します。胃袋を広げ、腸の吸収効率を上げていきます。

年末には、デザートとして山もりのミカンを食べて、爽やかな気分で東京に帰ることができますように。今後とも、何卒宜しくお願いいたします。

(東大病院 山崎広貴)



松本峠からの絶景を写真に撮る山崎広貴

後ろ姿ばかりですみません。。。